

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 坪内 清	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	中央病院による救命救急医療の実施		
目的	(1) 対象	救命救急医療を必要とする人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	三次救急機能を担い、24時間体制で適切な救命救急医療を提供する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	救急外来患者数に占める一次救急外来患者数の割合を減らす	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	一次救急外来患者数/救急外来患者数	目標値		80.00	80.00	80.00	80.00	%
			実績値	72.90	71.50	67.60	66.40		
			達成率		110.60	115.50	117.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	
うち一般財源(千円)	0	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	④課題はあるが検討していない
---------------------	----------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

救命救急センターとしての機能を果たすために、一次救急を担う医療機関との機能分担を一層推進していく必要がある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

救命救急センターとして、24時間体制で県内全域をエリアとした三次救急医療を提供するとともに、ドクターヘリの基地病院として救命救急医療を提供している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
目標は達成しているものの、依然軽症患者の割合は高い。
- ②困っている状況が発生している「原因」
安易な時間外受診や救急車利用など。
- ③原因を解消するための「課題」
三次救急機能を担う救命救急センターとして、救命救急科の医師を安定的に確保するとともに、夜間・休日診療所の周知等により、医療機関の機能分担を促進するよう、県全体としての取り組みが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

関係大学や（一社）しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努める。また、県等が行う適切な救急医療の受診行動を促すための普及啓発協力する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）